

第1学年〇組 「道徳」 学習指導案

指導者	月城友里恵
内容項目	2 - (2)

主題名	思いやりの心
ねらい	他の人々の立場を尊重し、思いやりの心をもって他者と関わっていかうとする心情を育てる。
資料名	「学習机」 (作成委員会編)
主題設定の理由	学校生活や、その後の社会生活での集団生活を送る中で、必要不可欠なものであると考える「思いやりの心」は、自他ともにかげがえのない存在であるという自覚に立って他者と接することができるようになってほしいと考えたため主題として設定した。

展 開

	学習活動 (発問と予想される生徒の動き)	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業を始める前に、2～3人のペアもしくはグループに分かれる。 ○ 役割を決め、プリントの内容を確認し、ロールプレイングを行う。(青木さんと父親の2役。人数によってはそこに一人観察者を入れる。) ○ 役割を演じた(観察した)感想を引き出す。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">今役割を演じてみて(観察して)それぞれのどのようなことを感じていると思</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (青木さん) 申し訳ない。 ・ (父親) 文句を言いたい。間違いだから仕方ない。 ・ (子) 残念。悲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒記入用紙と、資料プリントを配付する。 ・ 本文を読む前に、役割になってロールプレイングをすることで、それぞれの立場を考えられるきっかけをつくる。 ・ 本文を読む前の率直な感想を引き出せるようにする。 ・ それぞれの立場や気持ちがあることを理解できるようにする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文を読む。 ○ プリントにそって、登場人物の心情を考える。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">父親が怒鳴ったことについて、どう考えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 怒鳴るのは当たり前だ。 ・ 少しやりすぎだ。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えを発表してもらおうと同時に次の発問へつなげる。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「そういう問題じゃないのよ」と言われ、青木さんはどんなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 机をただ届けるだけの仕事ではない。 ・ 本当に悪いことをしてしまったとようやく気付いた。 <ul style="list-style-type: none"> ○ ここでも考えたことを数名に発表してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考えを発表させるときに、それぞれの立場を意識させるため、できるだけロールプレイングで演じた役の種類を混ぜて、意見を聞く。 ・ 父親の態度に賛成・反対の意見があることで、様々な人の立場や考えがあることを理解できるようにする。 ・ 青木さんの考え方が転換するきっかけとなったことばであることを意識し、どんな気付きがあったのか考えられるようにする。 ・ 友人の意見を聞くことで、感じたことや考えたことを共有できるようにする。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ○ プリントにそって個人の意見を書いたあと、再びペア・グループになり、自分の考えを発表する。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">相手の立場になって考えるとはどういうことだと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手を思いやること。 ・ 自分がされて嫌なことはしないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文から発展して、相手の立場になって考えることを意識できるようにする。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の言動が他人にどう影響するか考えることができているか。 ・ 相手のことを思いやり、他人の立場に立って物事を考えることの大切さに気付くことができたか。 	
備考		

思いやりの心「学習机」ワークシート

1年（ ）組（ ）番（ ）

1 始めに役割分担をして、ある場面のロールプレイングをします。以下の役割を決定してください。

自分と友人の名前を以下の（ ）に記入してください。

○青木さん・・・（ ）

→机の販売員。今回ある家庭に届けるはずの机を間違えて配達してしまった。

○父親・・・（ ）

→今度小学校に上がる年齢の子どもを持つ。その子と選んだ学習机を購入し、自宅に配達してもらったが、この度注文とは異なる机が自宅に届いた。

○観察者・・・（ ）

→特に発言をしない。二人のやりとりを観察する。



2 次の場面を演じてください。

青木さんは間違った机を配達してしまったことに気づき、父親に電話をしたところから会話を始めてください。父親は家に届いた机が間違っていることに気付いた。青木さんから電話がかかってくるころから会話を始めてください。

3 役割を演じてみてそれぞれの気持ちを記入してみましょう。

青木さん・・・（ ）

父親・・・（ ）

子ども・・・（ ）

4 本文で、父親が怒鳴ったことについてどう考えますか。

5 「そういう問題じゃないのよ・・・」と言われ、青木さんはどんなことを考えたでしょうか。

6 相手の立場になって考えるとはどういうことだと思いますか。